

エコアクション21

# 環境活動レポート

平成22年8月1日～平成23年3月31日

平成23年 7月15日



**山陽建設株式会社**

# 目次

I. 会社概要	P.2
1. 会社概要	
II. 環境方針	P.4
1. 環境理念	
2. 行動指針	
III. 環境目標と実績の評価	P.5
1. 環境目標	
2. 環境目標に関する活動計画	
3. 活動実績の評価	
IV. 活動全般の評価と見直し	P.13
1. 環境方針について	
2. 環境目標と取り組みの結果について	
3. 環境経営システム全体の評価	
V. 環境関連法規制等の遵守状況	P.14
1. 関連する法規	
2. 遵守状況	

# I. 会社概要

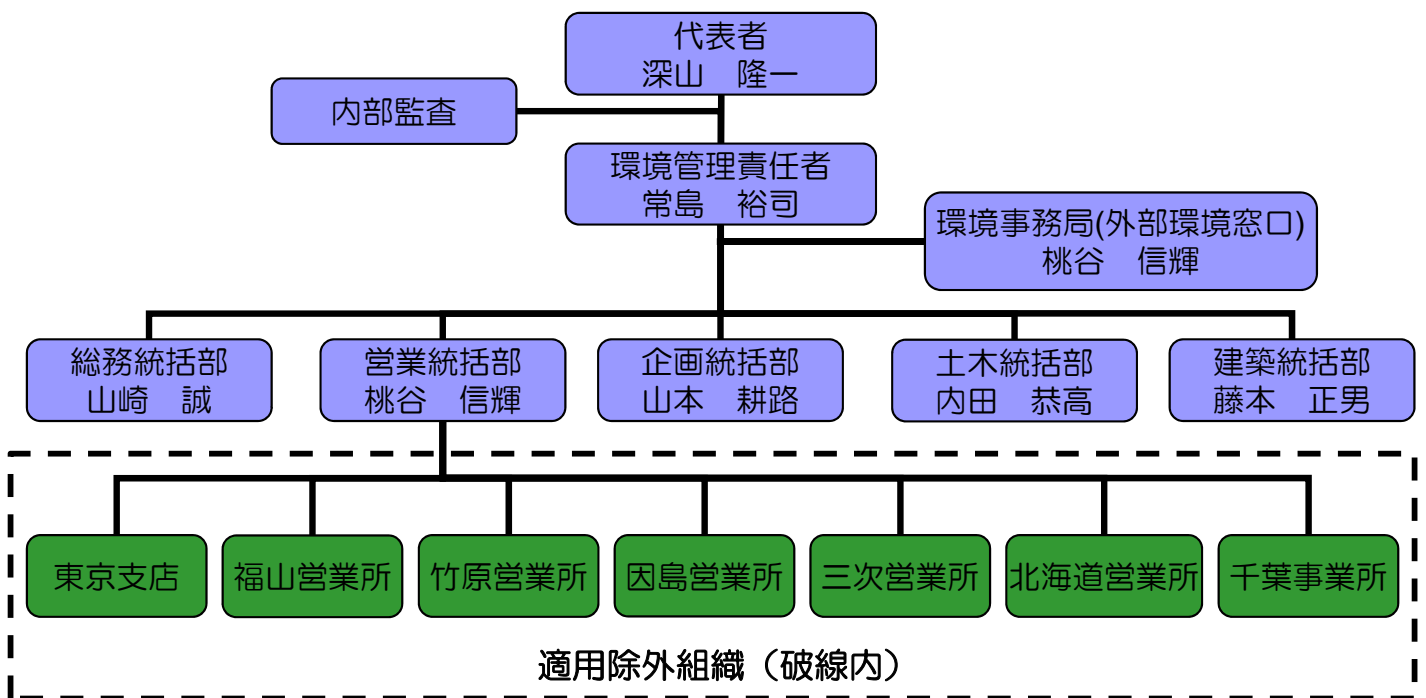
## 1. 会社概要

(1) 商号	山陽建設株式会社
(2) 代表者名	深山 隆一
(3) 創立	昭和24年1月25日
(4) 資本金	96,000千円
(5) 所在地	広島県三原市宮沖1丁目13番7号
(6) TEL	0848-62-2111
(7) FAX	0848-62-9955
(8) URL	<a href="http://www.it-sanyo.co.jp/">http://www.it-sanyo.co.jp/</a>
(9) E-Mail	info@it-sanyo.co.jp
(10) 従業員数	132名
(11) 売上高	7,778,884,174円
(12) 関連会社	山陽ブロック工業株式会社 山建興産株式会社
(13) 許可・登録等	特定建設業 国土交通大臣許可（特-21）第3613号 建設コンサルタント（建21）第249号 一級建築士事務所 広島県知事登録 07（1）第0416号 宅地建物取引業者 広島県知事（11）第2888号
(14) 営業所	東京支店 東京都港区浜松町1-29-10コシバビル3F TEL(03)5408-3265 福山営業所 広島県福山市神村町伊勢山下6019番地の2 TEL(084)934-6344 竹原営業所 広島県竹原市塩町1丁目3-11 TEL(0846)22-3045 因島営業所 広島県尾道市因島重井町塚浜5800番地の23 TEL(0845)24-1421 三次営業所 広島県三次市秋町726 TEL(0824)68-2353 北海道営業所 北海道札幌市中央区北3条西4丁目1-4 TEL(011)221-4960 千葉事業所 千葉県木更津市高柳1丁目4番9号 TEL(0438)41-9291
(15) 保有車輛・船舶	車 輛 106台(営業車・軽トラック・トラッククレーン車等) 船 舶 19隻(浚渫船・起重機船・土運船・小型船等)

## 2. 沿革

昭和24年	創業 竹原事業所開設
昭和27年	河川用ブロック製造開始（山陽ブロック工業（株）の前身）
昭和42年	山陽ブロック工業（株）設立
昭和44年	福山事業所開設
昭和49年	特定建設業許可
昭和54年	浚渫部門を山建興産（株）として分離独立
平成3年	関東事業所開設
平成11年	会社創立50周年
平成12年	ISO9001認証取得
平成14年	東京支店開設
平成18年	三次営業所開設
平成21年	会社創立60周年

## 3. 環境経営システム組織図



適用組織	本社組織
適用範囲	土木構造物の施工、建築物の設計、工事監理及び施工
適用拡大 スケジュール	各支店及び営業所は2回目の更新審査までに順次対象範囲とする。

## Ⅱ. 環境方針

### 1. 環境理念

私たちは建設という仕事を通して、社会に奉仕する精神と地域の発展を目指し、様々な事業に取り組んでまいりました。これからも自然と人とのより良い関係を構築するため、私たちは環境保護に対する取組を日々の仕事のなかで実施し環境への負荷の低減に努め、地域社会に貢献していきます。

### 2. 行動指針

(1) 環境保全の取組は経営の最重要課題のひとつと捉え、環境経営システムの構築と運営により以下の取組を実施します。

#### 1) 持続可能な社会へ向けての行動指針

- ①電力・化石燃料の消費による二酸化炭素排出量の削減
- ②事務所のゴミ削減と現場における産業廃棄物の削減
- ③水使用量の削減
- ④グリーン購入の推進
- ⑤化学物質使用量の削減

#### 2) 山陽建設の事業に関する行動指針

- ①環境に配慮した製品の導入推進  
設計段階において有害物質を含まない製品、環境負荷の低減に繋がる製品の選択及び発注者への採用提案
- ②顧客への環境に配慮した自社製品の提案営業  
工期短縮・コスト削減が可能な自社開発の製品（SASP型橋梁）の提案営業の推進
- ③環境に配慮した工事の施工  
施工時における低排出ガス・低騒音型機材の使用推進と、現場での環境汚染に繋がる災害を未然に防止するためのパトロールの実施
- ④本社及び現場周辺での美化活動の推進  
道路及び公園の定期的な清掃活動の実施

(2) これらの環境方針を実現するため、活動目標の設定と定期的な評価による見直しを継続しておこないます。

(3) この環境方針を全ての従業員に周知します。

(4) 事業活動に関連する法規並びに当社が約束したことを遵守します。

平成22年 9月 6日 改定

山陽建設株式会社  
代表取締役 社長 深山 隆一

### Ⅲ. 環境目標と実績の評価

#### 1. 環境目標

##### 1) 持続可能な社会へ向けての行動指針に関する目標

環境目標	基準数値		将来目標		
	基準値 (2009年度 ※1)	単位	2010年度	2011年度	2012年度
電力使用量の削減 (事務所)	138,200	kg-CO2(※4)	-3%	-4%	-5%
	249,000	kWh			
電力使用量の削減 (現場)	51,099	kg-CO2(※4)	-3%	-4%	-5%
	92,070	kWh			
ガソリン使用量の削減	254,800	kg-CO2	-3%	-4%	-5%
	109,750	L			
灯油使用量の削減 (現場)	※2	kg-CO2	-3%	-4%	-5%
		L			
都市ガス使用量の削減	378	kg-CO2	-3%	-4%	-5%
	182	Nm3			
一般廃棄物の削減	※2	L	-3%	-4%	-5%
産業廃棄物の削減	8,712	t	-3%	-4%	-5%
節水(事務所)	254	m3	-3%	-4%	-5%
節水(現場)	4,290	m3	-3%	-4%	-5%
化学物質使用量の削減	※2	%	※3		
グリーン購入の推進 (事務用品)	※2	%	40	42	44
グリーン購入の推進 (現場)	※2	%	100	100	100

※1 基準値の対象年度の内訳は2009年4月1日～2010年3月31日とする

※2 基準年度の値について記録が残っていないため基準を定めていない

※3 2009年度の基準値が無い為、2010年度において基準値を定める事とする

※4 電力の二酸化炭素排出係数は2004年度版建設業向けマニュアル別表1(環境への負荷の自己チェックシート)の0.555による

## 2) 山陽建設の事業に関する行動指針の目標

環境目標	基準数値		将来目標		
	基準値 (2009年度 ※1)	単位	2010年度	2011年度	2012年度
①環境に配慮した製品の導入推進					
設計段階において有害物質を含まない製品の提案数	※2	件	※3		
環境負荷の低減に繋がる製品の提案	※2	件/現場	1	2	3
②環境に配慮した自社製品の提案営業					
SASP型橋梁の採用件数	5	件	6	7	8
③環境に配慮した工事の施工					
低排出ガス・低騒音型機材の使用率	※2	%	100	100	100
環境パトロールの回数	※2	回	12	12	12
④美化活動の推進					
道路・公園の清掃活動の回数	5	回	6	6	6

※1 基準値の対象年度の内訳は2009年4月1日～2010年3月31日とする

※2 基準年度の値について記録が残っていないため基準を定めていない

※3 2009年度の基準値が無い為、2010年度において基準値を定める事とする

## 2. 環境目標に関する活動計画

### 1) 持続可能な社会へ向けての行動指針に関する活動計画

環境目標	主要な活動計画	活動計画の評価
電力使用量の削減（事務所）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコン設定温度を（夏:28℃、冬:20℃）に設定</li> <li>・昼休みの消灯の張り紙を掲示することで消灯の徹底。</li> </ul>	<p>適温時は各部門でエアコンの稼働台数を減らすなど意識向上を図った。昼休みの消灯は張り紙の掲示で全部門で実施したが更なる取り組みが必要。</p>
電力使用量の削減（現場）		
ガソリン使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目の消費量の管理</li> <li>・ガソリンについてはエコ運転の実施徹底。</li> </ul>	<p>月ごとのデータを管理しガソリン使用量は社内掲示板にて毎月のデータを公表した。また全車にエコドライブ奨励ステッカーを貼り意識向上を図るなどの活動を実施した。</p>
灯油使用量の削減（現場）		
都市ガス使用量の削減		
一般廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排出量の管理。</li> <li>・分別の徹底。種類別の箱の用意と種類の明示。</li> <li>・コピー用紙使用量の削減の張り紙の掲示。裏紙利用の推進。</li> </ul>	<p>排出量の管理は全部門で実施。事務所ではごみ分別が徹底された。コピー機に裏紙使用を促すシールを貼るなどの活動を実施したが、今後更なる排出量削減の取り組みが必要。</p>
産業廃棄物の削減		
節水（事務所）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用量の管理。</li> <li>・節水を促す張り紙を掲示。</li> </ul>	<p>使用量の管理を実施した。節水シールを蛇口付近に貼り意識向上を図った。現場においては今後節水コマの設置率向上を図っていく。</p>
節水（現場）		
化学物質使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シックハウス対策製品の採用。</li> </ul>	<p>シックハウス対策製品の採用が進んでいる。更に有害物質を含まない製品の採用を図っていく。</p>
グリーン購入の推進（事務用品）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコマーク用品の優先購入。</li> </ul>	<p>優先購入が浸透している。今後更にグリーン対象商品の比率を上げていく。</p>
グリーン購入の推進（現場）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン対象機材の使用。</li> </ul>	<p>現場は低排出ガス機器等のグリーン対象機材を使用し達成。</p>

## 2) 山陽建設の事業に関する行動指針の活動計画

環境目標	主要な活動計画	活動計画の評価
①環境に配慮した製品の導入推進		
設計段階において有害物質を含まない製品の提案数	・シックハウス対策製品の採用。	シックハウス対策製品の提案は施主の信頼に繋がるものであり関係する全ての建材について対象製品の積極提案を実施する。
環境負荷の低減に繋がる製品の提案	・受注工事でのエコ提案の推進	エコ提案は発注者への技術提案に繋がるもので、目標としたことで件数の増加が認められた。
②環境に配慮した自社製品の提案営業		
SASP型橋梁の採用件数	・SASP型橋梁の積極的営業。 ・受注件数、引き合い件数の管理。	対象期間中は未達であったが当製品は工期短縮、コスト面以外にも省資源であるが特徴であり採用されることが省資源に貢献できると捉え今後も営業を推進する。
③環境に配慮した工事の施工		
低排出ガス・低騒音型機材の使用率	・低騒音、低振動機械及び工具を使用。	グリーン対象機材の使用は公共工事のみならず民間でも積極的に採用されており、今後も推進する。
環境パトロールの回数	・環境パトロールを実施し取り組み状況の確認と指導を行う。	パトロールの実施体制が整っておらず目標を達成できていない。現場への周知に必要なことでもあり、回数を増やすこととする。
④美化活動の推進		
道路・公園の清掃活動の回数	・県道及び海浜公園の定期的な美化活動の実施。	継続的な美化活動を推進するための目標が適切になされ、努力目標となっている。

### 3. 活動実績の評価

#### 1) 持続可能な社会へ向けての行動指針に関する目標の評価

環境目標	単位	目標値	実績	評価
電力使用量の削減 (事務所)	kg-CO2	89,369	102,650	電力については事務所で目標を達成できなかった。周知はされているのでさらに努力するよう各部門に要請する。 ガソリンの使用量についても目標値を越えている。遠方の現場が多かったことも要因と考えられる。
	kWh	161,025	184,955	
電力使用量の削減 (現場)	kg-CO2	33,044	29,348	
	kWh	59,539	52,878	
ガソリン使用量の削減	kg-CO2	164,770	224,881	
	L	70,971	96,862	
灯油使用量の削減 (現場)	kg-CO2	—	233	前年データが無い為、本年度のデータにて次年度の目標とする。
	L		94	
都市ガス使用量の削減	kg-CO2	244	177	目標値を下回り達成できている。
	Nm3	117	85	
一般廃棄物の削減	L	—	28,440	前年データが無い為、本年度のデータにて次年度の目標とする。
産業廃棄物の削減	t	5,634	6,635	対象期間が繁忙期にあたることもあり、目標値を大幅に越える結果となった。次回は年間で判断することとなり、経過を見守ることとする。
節水(事務所)	m3	164	290	現場では目標を達成できたが、事務所では達成できなかった。今後更に周知徹底を図るよう努める。
節水(現場)	m3	2,774	1,656	
化学物質使用量の削減	%	—	100	前年データが無い為、本年度の実績にて次年度の目標とする。今期は期間中の設計件数3件全てでシックハウス対策製品を導入した。
グリーン購入の推進 (事務所)	%	—	44	事務所は事務用品の購入を対象としている。前年データが無い為、本実績にて次年度の目標とする。 現場はエコ対象の標識等の導入により100%達成できている。
グリーン購入の推進 (現場)	%	100	100	

※目標値の設定は2009年度基準値を3ヶ月換算したものに2010年度目標値を換算して設定している。

## 2) 山陽建設の事業に関する行動指針の目標の評価

環境目標	単位	目標値	実績	評価
①環境に配慮した製品の導入推進				
設計段階において有害物質を含まない製品の提案数	件	—	3	前年データが無い為、目標値を設定していない。期間中の実績は設計件数3件に対して全てシックハウス対策製品を使用した。
環境負荷の低減に繋がる製品の提案 目標：1件/現場	%	100	43	期間中の46現場に対して提案があったのは18現場だった。建築部門の提案が少なく、意識向上に努める。
②環境に配慮した自社製品の提案営業				
SASP型橋梁の採用件数	件	4	1	広島県発注工事にて採用されたが、目標は未達となった。更なる営業に努める。
③環境に配慮した工事の施工				
低排出ガス・低騒音型機材の使用率	%	100	100	公共工事では義務付けされていることもあり100%達成できた。民間工事についても周知がされている。
環境パトロールの回数	回	8	26	積極的なパトロールがなされており目標を大幅にクリアできた。
④美化活動の推進				
道路・公園の清掃活動の回数	回	4	4	県道三原東城線及び大久野島清掃活動に参加したことにより目標達成できている。

※目標値の設定は2009年度基準値を3ヶ月換算したものに2010年度目標値を換算して設定している。

## 2) 山陽建設の事業に関する行動指針の目標の評価

### SASP型橋梁の普及促進

#### 本工法の概要

この橋梁は当社が開発したトータルコストの削減・工期短縮・施工の容易さに優れた汎用型組立橋梁です。

主な用途は小規模河川橋梁・災害時の緊急架設・歩道拡幅による張出歩道などがあり、従来工法に比べ、コストダウンや工期短縮が可能な技術であることから、国土交通省のNETIS（新技術情報提供システム）に新工法として登録されています。

製品の特徴はNETISホームページに掲載（登録番号：CG-050008）

施工事例 発注者：茨城県

工事内容：歩道橋（鋼製床版H型鋼桁橋 延長16.6m 幅員2.50m）



### 美化活動報告

日時：平成22年11月12日（金）

場所：県道三原東城線

今年度3回目の三原東城線清掃活動を22名の参加者で実施しました。今回は前回同様に国道2号線の交差点部分にて雑草とタバコの吸殻の処理を重点的に作業しました。



## 2) 山陽建設の事業に関する行動指針の目標の評価

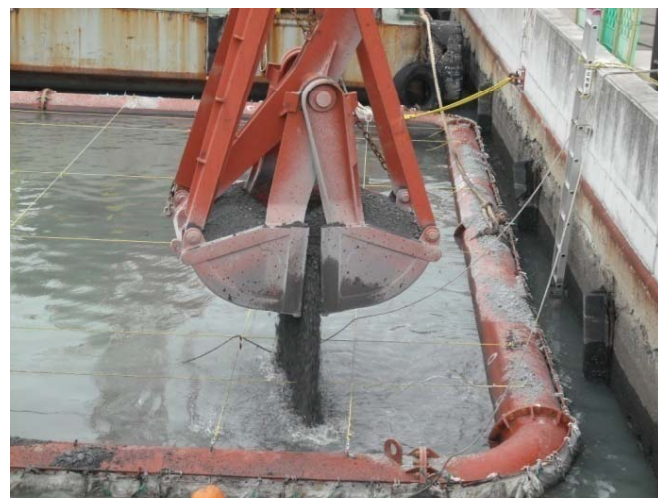
### 環境活動報告

#### 海底への覆砂の敷設による自然環境の再生について

福山港の内港地区において海底環境を改善することを目的とした試験工事を当社が施工しました。施工場所は海域が閉鎖性水域であることなどから水質環境が悪く、悪臭の発生が問題となっていたことから、国及び県により環境改善の取り組みが行われているものです。

この試験工事は底質改善効果があるとされる覆砂材「石炭灰造粒物」を一定の厚みで敷き均し、悪臭の発生源である海底土砂を浄化することで水質環境を改善するものです。

「石炭灰造粒物」を使用した試験工事は各地で実施され一定の効果が確認されており、当箇所においてもその効果が期待されます。



#### 施工現場付近における希少種ハクセンシオマネキの保護活動について

当社が施工した港整備工事において希少種であるハクセンシオマネキの保護活動を実施しました。スナガニ科に属するハクセンシオマネキは絶滅危惧種や天然記念物には指定されていませんが、近年は水質汚染や埋め立て工事等で生息地である干潟が減少し生息数が減少しています。このハクセンシオマネキを工事場所近辺から環境の良い近隣の干潟に移植する作業を実施しました。

この移植作業は地元の小学校の児童の皆さんと教職員の皆様、並びに発注機関ご担当者様にご協力を頂き作業を実施することができました。ご協力ありがとうございました。



## IV. 活動全般の評価と見直し

### 代表者の評価と見直し

#### 1. 環境方針について

##### 報告事項

環境方針は昨年の取り組み開始時より当制度の最新版を踏まえた内容が盛り込まれており、行動指針についても当制度に基づく設定となっている。これらの指針に基づいた目標が設定されている。

##### 代表者による評価

環境への負荷の低減により、地域社会に貢献をとの環境理念のもと、策定されているが整合性は十分図られている。

#### 2. 環境目標と取り組みの結果について

##### 報告事項

設定した目標に基づき活動計画を立案して実施した。各部門で活動計画の内容に沿った取り組みを実施したが、主に事務所電力及びガソリン使用量が増加しており、これらは目標を達成できなかった。対象期間が繁忙期に重なることも要因の一部と考えられる。

##### 代表者による評価

CO2の削減・廃棄物の削減など環境への取組みを重視した活動は十分評価出来る。前年度を上回っている数値については、要因を分析し、改善していく必要がある。

#### 3. 環境経営システム全体の評価

##### 報告事項

内部コミュニケーションの実施等により当社の環境活動に対する取り組みが全社的に伝わり、これらの活動が企業価値の向上に繋がることの重要性が浸透してきたと感じられる。その一方で実績が目標に達しない項目が見受けられ、目標値の適切な設定の再検討並びに今後さらに社員意識の向上を図る必要がある。

当初計画では福山営業所、因島営業所において、平成23年1月より運用を開始する予定であったが、社内組織の変更等により予定時期からの運用は困難と判断し、運用開始を見合わせた。

##### 代表者による評価

##### ■環境コミュニケーションについて

今後も、環境管理責任者、各部門の責任者を通じて日常的に環境について行動することを全社に浸透させる必要がある。

今まで以上の環境意識の向上を目指していただきたい。

##### ■設定目標の再検討

定期的に再検討は必要だが、目標に対する評価をきちんとやり、実施する必要がある。

##### ■適用事業所の拡大について

計画的に実施していく必要がある。

## V. 環境関連法規の遵守状況

### 山陽建設の事業に関連する法規と遵守状況

#### 1. 関連する法規

廃棄物処理法	水質汚濁防止法
労働安全衛生法	浄化槽法
ラージリサイクル法	消防法
建設リサイクル法	海洋汚染防止法
大気汚染防止法	道路交通法
オフロード法	道路運送法
建築基準法	道路運送車両法 等
騒音規制法	
振動規制法	

#### 2. 遵守状況

上記環境関連法規について、過去3年間において違反及び訴訟はありませんでした。  
また、関係機関からの指摘及び指導もありませんでした。  
これらに関して係争中の事件はありません。